

平成28年度 玉陵中学校便り H28. 4. 25

養徳の森

創刊号
文責 三次

47人の新生が玉陵中学校に仲間入り

4月11日(月)、大勢の来賓の方々、ご家族の皆様、在校生、教職員から温かく見守られる中で、今年は47名の新生が、玉陵中に入学してきました。

平成28年度は、1年生47人、2年生46人、3年生55人、全校148人でのスタートです。

6つの小学校から集まった47人。小学校のときもいろいろな交流を通して、顔見知りではあったと思いますが、これからは、毎日一緒に過ごすこととなります。友だちを増やして、みんなが楽しい中学校生活を送って欲しいと願うばかりです。

2年後、この新生が3年生のときに新生玉陵中学校が誕生します。着実な成長と活躍を期待しています。



自然に跪く未曾有の大地震

平成28年熊本地震は、県内各地に甚大な被害をもたらしました。この玉陵中校区では、そこまでの被害は耳にしていせんが、自然の恐ろしさをまざまざと見せつけられています。各ご家庭によっては、大小様々な被害があったのではないかとお見舞い申し上げます。

このような大災害が起きるといつも思うのは、常に、自然に感謝する心や跪く(ひざまずく)心を持ち続けなければいけないということです。自然に対して、常に謙虚な気持ちを持ち続けなければならないということです。

何事にも謙虚さは必要ですが、このようなときこそ、感謝の気持ち、謙虚さ、思いやりの気持ちは大切だと感じています。

平成28年度 玉陵中学校職員紹介

校長		三次圭介	数学
教頭		丸塚慎一郎	社会
教諭	教務主任	小山一英	社会
教諭	1年主任・1の1担任	志水雅子	数学
教諭	1の2担任	中村頼勝	保健体育
教諭	あすなる学級担任	松永真由美	特別支援教育
教諭	1年副担任	高田慎也	技術、理科
教諭	2年主任・かがやき学級担任	宮村雅勇	特別支援教育
教諭	2の1担任	村上祐子	国語
教諭	2の2担任	池上太郎	数学
教諭	2年副担任	本島治樹	英語
教諭	3年主任	橋本なつみ	音楽、家庭
教諭	3の1担任	宗祐介	英語
教諭	3の2担任	早高謙志	美術
教諭	進路指導主事	松野和久	理科
養護教諭	保健主事	村上尚美	養護
事務職員		宮村直子	事務
図書室補助員		荒平美奈	
特別支援教育支援員		渡辺百代	
適応指導教室指導員		竹下貴美	
ALT		James	英語

歓迎遠足に行きました

晴天に恵まれた4月20日(水)、和水町の古墳広場まで、遠足に行きました。

今年は、3年生のリーダーを中心に縦割り班での遠足を実施しました。1グループずつの時間差スタート。3年生、2年生で1年生を挟んでの遠足。無事故で(それが当たり前ですが)現地に到着しました。

生徒会主催のクイズ(○×クイズ)やゲーム(ボール取りゲーム)を楽しんで、クラスごとでの昼食。しばし、現地で遊んだ後は、また班別で学校に帰ってきました。

今回の大地震のように、時に自然は、人間に大きな試練を与えますが、この日のように、春の日差しを体中に浴びせかけてくれることもします。しばしい時間を過ごさせていただきました。



入学式式辞(アイデンティティーの確立を)

中学校で入学式の式辞を述べるのは初めてでした。しかも我が母校。あと2年で新生玉陵中が誕生するという思いを込めて式辞を述べました。

式 辞

四十七名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございませう。並びにご家族の皆様、お子様のご入学、まことにおめでとうございませう。

それから、齊藤副市長様、永野市議会議長様をはじめ、多くのご来賓の皆様、公私ともにご多用な中、入学式に花を添えていただきましてまことにありがとうございます。

「さまざまの思い出桜かな」は、松尾芭蕉が、あの「奥の細道」として著した旅に出る一年前に詠んだ句です。桜の季節も過ぎ去ろうとしています。桜の季節になると、出会いや別れなど、様々な思いがよぎります。新入生の皆さんの今の心境はいかがでしょう。多少の不安を抱えながらも、それを打ち消すやる気に満ちた姿にこちらからは見てとれます。

皆さんも知っていると思いますが、この玉陵中は、二年後に小中一貫校として生まれ変わります。みなさんが、中学校三年生の時です。今からの二年間は、新しい玉陵中がスタートするための大事な準備期間です。

奇しくも、昭和三十三年、小田中と錦水中が玉陵中に統合されて、今年が五十九年目。来年が創立六十周年になり、次の一歩を踏み出す六十年目が、玉陵小中一貫校の船出となります。

この二年間は、玉陵中が今まで育み守り続けてきた伝統を受け継ぎ、新しい時代を創造していく大事な二年間です。その意味では、後ろにいる二、三年生が、玉陵中のスクールプライドとして取り組んできたことを新入生の皆さんにはしっかり受け継いでいって欲しいし、また、二、三年生は、新入生をしっかりサポートしながら引っ張って行って欲しいと願っています。

新入生の皆さん、皆さんは今から青年前期にさしかかります。アメリカの心理学者エリクソンは、青年期の発達課題として「アイデンティティー」を挙げています。「アイデンティティー」とは難しい言葉かも知れませんが、簡単に言い表すと、「これが本当の自分だ」ということを自覚するという事です。今から皆さんは、「自分とは何か」、「将来の夢や希望、目標は何か」、「どんな仕事をするのか」、「どのように生きていくのか」など、様々な悩みに直面することでしょう。しかしそれは、

皆さんの「アイデンティティー」を確立していくときに避けては通れない道です。

私は、「しっかりした自分を作る」ための、いろいろな仕掛けがこの玉陵中にはたくさん用意されていると思っています。学習や部活動はもちろんですが、毎朝の挨拶運動、環境整備や環境美化のボランティア活動、体育大会や文化祭などの学校行事、いじめを絶対に許さない人権尊重の取組など、枚挙に暇がありません。

情報過多な世の中です。しかし、何がよくて何が悪いのか、どれが美しくどれが醜いのか、何が正しくて何が誤っているのか、何が正義で何が卑怯なのか、玉陵中の生徒としてしっかり学んでください。先輩方がその見本を見せてくれるはず。頑張ってください。

最後になりましたが、美しい心がふるさとをつくり、美しいふるすとは人の心を美しくします。ご来賓の皆様、地域の皆様、それから保護者の皆様、私は常々、「人は、ふるさとの風景を心に持ち続けなければならない。」と思っています。この玉陵中校区の風景は、ずっと子どもたちが心に持ち続けるだけの美しさがあり、歴史があり、力があります。今までそれぞれの小学校区で育み築き上げてこられたふるさとの風景を、二年後の統合を控え、それぞれの小学校区の垣根を越えての、玉陵小中一貫校を中心に据えた新しい風景を作り上げていただきたいと切にお願い申し上げますとともに、今まで同様のご理解ご協力をお願い申し上げます。式辞といたします。

平成二十八年四月十一日

玉名市立玉陵中学校長 三次 圭介

P T A 総会・学年懇談会お世話になりました

今回の地震の影響により、P T A 総会を延期し、21日(木)午後7時から武道館で実施しました。

急遽日程変更しましたにもかかわらず、多数の保護者の皆様にご参加いただきましてありがとうございました。

今年もP T A活動への御協力よろしくお願ひいたします。また、玉陵中学校の諸活動へのご参加、御協力も併せてよろしくお願ひいたします。

会長	三次一郎	総務	小田
副会長	仲山光	総務	小田
副会長	五郎丸亜希子	生徒補導	玉名
副会長	甲斐賢二	環境整備	石貴
副会長	中尾健正	保健体育	梅林
副会長	平本正義	調査広報	三ッ川
副会長	東田理恵	学年	月瀬
家庭教育部長	坂本智砂子	家庭教育	月瀬